

園ビオトープ、昨今の様子



ツバメが巣作りを始めました。
ビオトープの水田に土をとりに来ていたツバメ、ついに園内に巣を作り始めました。
むさしの史上初！
子育てを見守りたいと思います。

柑橘系にはアゲハ。
セリにはキアゲハの幼虫が観察できます。
もちろんセリは無農薬。すくすくと育ち、サナギや羽化の様子を観察できるといいですね。
事務室の飼育ケースでも観察できるようにしてみました。



ビオトープには、準絶滅危惧種のニホンイシガメも生息しています。すっかり棲家として気に入ってくれたようで、餌場も認識してきました。
オスが2匹、メスが4匹いるので、いつかは赤ちゃんも見られるかな？

環境が良くなってきた？
ニホンカナヘビも住人として仲間入り。ときおり見かけるようになりました。



実はコチラも、諸島部を除く東京都本土部において「絶滅危惧種Ⅱ」に分類されているとのこと。23区のような都心のみならず、東京都の山間部でも絶滅の危険が増大しているととらえられているようです。



花壇を作る理事長、それを見守る子ども達

ビオトープほか、環境教育を狙いとした NPO 「むさしの地球村」 Instagram にも、一連の記事を UP しています。

https://www.instagram.com/musashino_earth_club/



@MUSASHINO_EARTH_CLUB



学校法人野澤学園
東村山むさしの認定こども園 GROUP
<https://musashino-group.tokyo/>

